

網津公民館だより

令和7年
12月号

いよいよ師走となりました。公民館だより12月号をお届けします。

<第4回成人講座：交通防犯教室>

10月18日(土)開催

網津公民館第4回成人講座は10月18日(土)「交通防犯教室」を題材に行いました。22名の地域の方々が集まりました。講師は、宇城警察署和泉生活安全課長・高田網津駐在所長。館長挨拶の後、「オレオレ詐欺・息子なりすまし」「架空請求詐欺」「還付金詐欺」などのDVD上映があり、和泉さんの「詐欺の決まり手」を面白く拝聴しました。

「還付金誘い手」はニセ市役所職員などが、介護保険料の還付金がある。申請期間は今日まで。などと電話をかけて被害者をATMへ誘い出しお金をだまし取る。などたくさんの事例を紹介していただきました。

次の高田さんからは、県内令和6年の電話お金詐欺の被害総額は4億4千万円(113件)との話。会場からはため息が洩れました。それと警察官を騙る詐欺が多い。網津駐在所の固定電話は廃止され、連絡を取る場合は宇城警察署へとの情報も参考になりました。



<第5回成人講座：人権講座>

11月1日(土)開催

第5回成人講座は、11月1日(土)網津小学校校長折田衛章人さんを講師に迎え15名の参加者を得て人権学習「身近にある差別と網津小人権教育について」を題材に講座を行った。館長挨拶の後、折田衛校長はパワーポイントを駆使して、犬やカエルの絵を見せて「1枚の絵の中に何が隠れているか」の問い掛けをされた。同じ絵でも見方を変えれば違ったものが見えてくる。普段の生活でも違った考えが出来ないか考えてみる。など貴重なアドバイスをいただきました。特に印象に残ったのは、小柳ルミ子の「瀬戸の花嫁」の歌の中に「男だったら泣いたりせずに・・・」と差別用語が隠れている。私たちは、家を出るとき「行ってきます」と言っているが、この言葉には「行って帰ってくる」の意味がある。戦争中の神風特攻隊の隊員は「行きます」という言葉しか言えなかった。などなど。ユーモアを交えた校長の話術に引き込まれた1時間半でした。折田衛校長ありがとうございました。



<第6回生涯学習講座：俳句を楽しむ会>

11月12日(水)開催

第6回生涯学習講座「俳句を楽しむ会(式水会)」は11月12日(水)7名が参加して始まりました。公民館長挨拶の後、講師伊勢聰さんも交えて「友と行った島原旅行の思い出」と「14年前のミスチルコンサートの思い出」をワークショップ形式で俳句を作りました。出来上がった作品は以下の通り。

1. 城下町 昔のことが なつかしい (コーショー)
2. 城下町 友と再会 癒される (慈風)
3. 友と行く 島原の旅 別世界 (エーデル)
4. 流水の 小道を歩く 同い年 (甚平)
5. 島原に 天草四郎 思い出し (梅林)
6. 4万人 ライブ熱唱楽しむ 夏の夕 (侘助・にゃん吉・エルビス合作)
7. 雷雨止み ホット一息 コンサート (侘助・にゃん吉・エルビス合作)
8. 夏の夕 娘と応援 コンサート (侘助・にゃん吉・エルビス合作)
9. 夏の宵 ミスチルライブ 4万人 (エーデル)

作品の出来はいかがだったでしょうか。この講座は会員仲間をお互いに俳句で呼び合い、忌憚なく評し合う自由空間を満喫できる講座です。残念ながら公民館生涯学習講座としては本日で終わりますが、来月からは自主講座として毎月第2水曜日に開催されます。興味のある方はぜひご参加ください。



☆12月の網津公民館事業予定☆

◎ 第5回青空教室：「アロマでクリスマス香り作り」 講師＝澤田久恵さん(12月13日)

<館長からのメッセージ>

今年最後は「吉田松陰一生モノの教え」を掲載します。参考になれば幸いです。

◎「努力して後悔」した人は一度も見たことがない。しかし「努力しないで後悔した人」は腐るほど見てきた。

網津公民館 ☎0964-25-0500 (月～土の午前中)